

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議(子宮頸がんゼロプロジェクト)推奨

HPVワクチン接種推奨

接種対象	11-14歳の女子 (9歳から接種可能)
Catch Up対象	15歳以上~45歳の女性
接種スケジュール	0、1~2、6ヶ月の3回接種
他のワクチンとの同時接種	可能だがまだ検証できていない 麻疹、風疹、ジフテリア、破傷風
細胞診の重要性	ワクチン接種後も定期的な検診を継続する

細胞診異常例	接種の価値あり ¹⁻³
HPVテスト陽性例	接種の価値あり ⁴
治療効果に関する説明	ワクチンが細胞診異常や異形成に対する治療効果がないことを説明する ⁵
免疫不全状態患者	接種可能であるが、効果が劣る可能性がある
妊婦	推奨されない ⁵
授乳婦	接種可能 ⁵

過敏症	ワクチン成分に過敏症の既往がある患者は接種禁忌
軽微な急性疾患	接種可能
中等度から重症の急性疾患	疾患が回復するまで接種を待つ

1. Franco EL et al.: J Infect Dis 1999;180:1415-23

2. Molano M et al.: Am J Epidemiol 2003;158:486-94

3. Moscicki AB et al.: J Pediatr 1998;132:277-84.

4. European Research Organization on Genital Infection and Neoplasia, Paris, France. April 23-26, 2006.

5. FDA. Product approval information: Gardasil (quadrivalent human papillomavirus types 6,11,16,18). Merck & Co., Available at <http://www.fda.gov/cber/label/HPVmer060806LB.pdf>.